

マンスリー 北京 JAC

第278号

Japan Accountability Caucus for the Beijing Conference

2023年10月1日発行

■ 維新の正体 ~富田宏治さんのお話から 維新というマッチョな集団が全国的展開を見せ脅威になりつつあります。この 動きは、北京 JAC が目指してきた社会とは真っ向から対立するもので、私たちは、 この勢力と対峙していかなくてはなりません。そのために学習会を企画し、大阪で 維新と闘い続けてこられた富田宏治さんからメディアが伝えない維新の実態につい て学びました。石田久仁子さんの報告です。	2
■ 最高裁、辺野古新基地で不当判決 戦後78年、沖縄に70%の米軍専用基地を押し付け、今新たに軍事化を進める政府に対して最高裁は司法権の独立、三権分立の原則をせめて守れよ!と不当判決に怒りがこみ上げてきました。元沖縄県議、狩俣信子さんの現場からの声です。私たちがいかに呼応していくか、が問われています。	3
■さらに問われるジャニーズ性虐待問題とメディア マンスリー7月号(273号)で上記の問題を取り上げた直後から国連の調査を契 機に事務所も加害事実を認め大きな展開をみせています。人権後進国・日本の現状 を切り拓いていく絶好のチャンスです。小林富久子さんからの問題提起です。	4
■ 埼玉県立高校の「男女共学推進勧告」実現にむけて! 埼玉県では、「女性であることを理由に入学を認めない県立高校は女性差別撤廃違 反」という苦情に対して苦情処理委員会から8月末に上記の勧告が出されました。 その内容と今後の動きについて共学ネット・さいたまの亀田温子さんによるレポー です。	_
■ 地域からの発信	6
■ 親の介護、始まりました。(第4回) 昼夜逆転は深刻 98歳のお母さんの介護を一人で担ってこられた西山千恵子さんの第4回目レポートです。昼夜逆転と頻尿、予期せぬ事故の連続に在宅介護の限界が見えてくる、現場からの声です。	7
■ 学習会のお知らせ、世話人会報告など	8